

掃海艇「えのしま」 特別公開に参加 ～海上自衛官を目指す学生が特別な体験～



掃海艇「えのしま」に乗り込む参加者



搭載された装備について説明を受ける



搭載された装備について説明を受け



測距儀の説明に興味津々



掃海艇「えのしま」の前で記念撮影



双眼鏡を夢中で除く参加者



海上自衛隊の説明会は、
積極的な質疑応答が行われた



搭載された装備について
説明を受ける

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 梶 恒一郎・陸佐）は7月8日（土）、大洗港（茨城県大洗町）で実施された茨城地本主催の掃海艇「えのしま」特別公開に参加した。

当日は曇り時々雨で、蒸し暑い天候ではあったが、8名の参加者が期待と興奮を胸に大洗港へ向け出発した。

大洗港へ到着すると、港に停泊している掃海艇「えのしま」の棧橋で案内役をしてくれる海上自衛官を見て「さすが海上自衛官！さびびびしている姿がすごくカッコいい」と、学生に同伴している保護者から感嘆の声が漏れた。「あなたも海上自衛官になったら、あんなカッコよくなるのかな？」と親子で会話している姿が印象的であった。特別公開ということで、案内役の海上自衛官が一つ一つ装備を説明し一般公開のコースにはない艦内見学や、海上自衛隊の説明など、海上自衛隊の魅力を満喫した。将来、海上自衛官になりたいという学生は、日常の生活や訓練について質問し、海上自衛隊へのあこがれを更に深めていた様子であった。

参加した学生から「実際に艦艇を見たことで色々なことが分かりました。優しい話し方をする自衛官の案内役の人を見て、自衛隊のイメージが変わり、少し安心しました。今日は特別な体験になりました。ありがとうございました」と笑顔とお礼をいただいた。

栃木地本は「今後も、各種イベントを通じ募集対象者等に積極的に働きかけ、艦艇広報は海の無い栃木県で海上自衛隊を体験してもらえらる特別なチャンスと捉え、積極的に参加していく」としている。